

とちぎ義博 議会レポート

第31号 2006年 春号

発行者: 福岡市議会議員 柘木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.845-7669 FAX.845-8511

E-mail: tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ホームページをリニューアルしました

http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/



民主党前原代表(当時)に聞く、とちぎ義博(2月13日・民主党九州ブロック自治体議員フォーラム)

3月予算議会



山崎市長と格差論争! 本会議で認識質す。

が全国的に増加するなど市民生活に影響を及ぼしています。財政建て直しと効率的な自治体経営をめざす一方で、社会格差を広げない施策の必要性について、山崎広太郎市長の認識を3月8日の本会議で質しました。

福岡市は、就業につけない若年者に「平成18年から保健・福祉機関、就労支援機関、教育機関、NPO等と協力して、相談、基礎的資質、能力の養成等の支援を実施する」と答弁しました。しかし、社会格差の拡大と固定化の実態については、「その有無や要因、評価などについて様々な見方や考え方に基づく議論がある」(山崎市長)。また、社会格差が教育における機会の平等まで奪っている現実があるのではないかと質したのに対して、「本来、学力は家庭の経済力というよりも家庭の教育力が極めて重要な要素と考えている」(教育長)という認識にとどまりました。

私は、格差社会により生じる問題について、国会での議論と並行して、今後も福岡市議会で積極的な議論を展開していきます。

OECD(経済協力開発機構。G7先進国を含む30ヶ国が加盟)の2000年調査によるとG7先進国では日本はアメリカに次いで貧困率が際立って高く、これまでの一億総中流社会が崩壊、社会格差が広がり階層分化が始まったというショッキングな報道がなされています。「87%の国民が所得格差の拡大を感じて」(3月19日、西日本新聞)あり、「家庭の経済格差拡大が児童・生徒の学力に影響」(2月26日、共同通信)しているとする調査も報告されています。

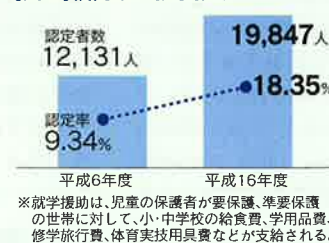
30代の若者がT長者となっていく一方で、同世代の若者がニートや非正規労働者として固定化されている現実があります。また、就学援助

【表1】OECD諸国の貧困率(%)



※貧困率とは、国民のうち何%が貧困者(各国の平均所得の50%以下にある人)であるかを示す。

【表2】福岡市の就学援助



【表5】福岡市の年収別世帯数



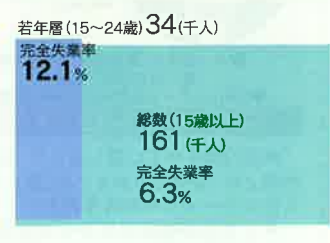
【表3】福岡市の国民保険料の滞納世帯



【表6】福岡市の雇用者数、正規職員数



【表4】福岡県の完全失業者(平成16年)



【表7】福岡市の扶助費の伸び



「格差社会は深刻」民主・前原前代表が強調!

「所得格差、教育格差、地域間格差の三つの格差が深刻化している」。2月13日に開催された民主党九州ブロック自治体議員フォーラムで、民主党の前原誠司代表(当時)は述べました。

とちぎ義博が、「格差社会の実態をどのように認識しているのか」、また「その原因は小泉構造改革による行き過ぎた市場原理主義にあるのではないかと質したことに對して、前原前代表は「正規雇用者と非正規雇用者との所得格差が開いている」「大都市ほど就学援助比率が高く、学力の低下に繋がっている」と格差の実態について答えたものです。また、「(小泉首相の唱える)小さな政府論に与しないが、効率的な政府をめざす」とともに、「民主党は教育、公共サービスなどセーフティネットを強める」と格差是正を追求する政治の必要を強調しました。



社会格差の是正を強調する民主党前原代表(当時)

3月議会

「五輪は市民に何をもたらすのか」説明求める!

「福岡VS東京」。今年8月30日の五輪開催都市の国内選考決定が迫っていますが、6月のJOC(日本オリンピック委員会)に対する五輪開催計画書の提出に向けて、準備作業も急ピッチに進められています。

とちぎ義博は、昨年9月の市議会で「福岡五輪招致決議」の趣旨である大規模開発をとまなう「従来型五輪から脱却した」新たな五輪像とその理念に賛同しました。そこで、同決議から半年が経ち、改めて五輪開催の意義について、市民の暮らしの視点から3月8日の本会議で質問しました。(柘木)福岡対東京の一騎打ちになったが、福岡五輪と東京五輪とは何が違うのか、説明を求める。

(福岡市)首都ではない地方都市が開催することにより、ホスピタリティあふれる、オリンピックの原点に戻った真の都市・地域開催の21世紀型オリンピックを実現できる。

福岡が優位な点は、大陸交流の歴史と自然景観に恵まれた博多湾全体を会場にするという考え方で競技会場その他の施設を集中的に配置し、アジアとの交流、九州一体となった取り組み、市民のホスピタリティとあいまって選手に理想的な競技環境を提供できる。

(柘木)福岡五輪の開催は市民に何をもたらすのか、市民の暮らしがどのように豊かになるのか見解を問う。

(山崎市長)世界中の選手を迎えるため、博多湾の豊かな自然や都市環境をさらに向上させ、21世紀の新しいまちづくりとして、将来のさらに住みよい、元氣な都市・福岡へ向けての大きなステップになる。

300を超えた文化催事やパラリンピックの開催により文化都市としての文化力を磨く機会、共生社会を進展させる契機にもなると考えている

このほか、①指定管理者制度の費用対効果と評価基準設定など情報開示について②耐震調査改修事業、偽装問題と社会的規制の強化について③現代版「匠の技」集積と新都市戦略の構築について④新・福岡都心構想について、質問しました。

とちぎ義博と行く浜風バスツアー

爽やかな風に吹かれながら、
ミヤマキリシマの咲き誇る
雲仙・仁田峠へ

5/21
(日)

とちぎ義博・浜風シリーズの恒例となったバスツアーを今年も実施します。今回は初夏の雲仙・仁田峠と普賢岳の火砕流で焼失した旧大野木場小学校跡をとちぎ義博と訪れます。ご家族、ご友人と爽やかな風に吹かれながら、大自然のパノラマをお楽しみください。

期日	出発
午前11時30分	①西新バレス東側(ミスタードーナツ横)
島原かまぼこセンター(具雑煮定食の昼食)	午前8時15分...集合(時間厳守)
午後1時	午前8時30分...出発
大野木場小学校跡(火砕流跡視察)	②西部ガスミュージアム跡西側(百道浜)
午後1時30分	午前8時25分...集合(時間厳守)
雲仙仁田峠(ミヤマキリシマ鑑賞)	午前8時40分...出発
午後3時30分	参加費
愛野ベルハウス(買物・カステラ試食)	大人(中学生以上).....5,000円
午後6時	小人(4歳~小学生).....4,500円
帰着予定	幼児(4歳未満).....無料
	※なお、参加費はバス料金と昼食代、ロープウェイ料金および障害保険料で、昼食時のアルコール代、その他の費用は含まれていません。

申込み締切

5月15日(月)までにお名前、年齢、連絡先、参加人数およびご希望の集合場所を右記にご連絡ください。なお、参加費は当日の集合場所で徴収いたします。

☎090-1974-4878(柘木)
FAX 845-8511
Eメール tochigi@bronze.ocn.ne.jp

☆ボランティアの皆さんを募集しています☆

この議会レポートをご町内やマンションに配布するご協力をお願いいたします。(ご連絡 845-7669)